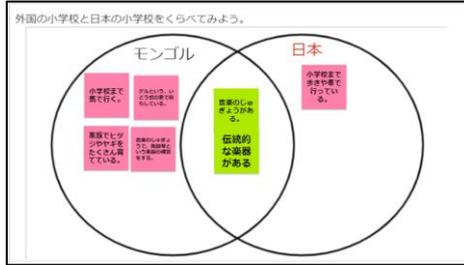
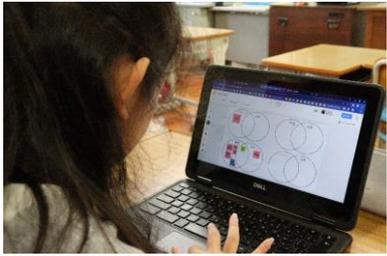


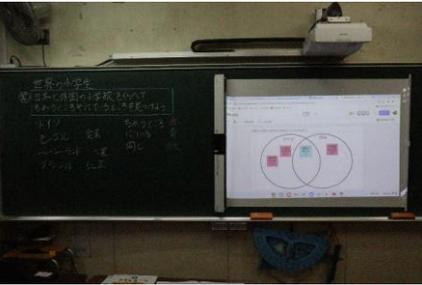
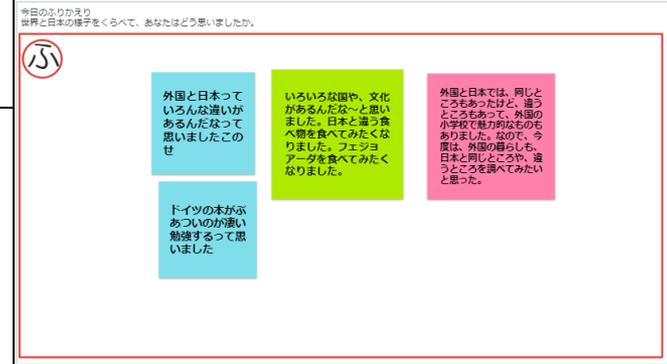
# リーディングDXスクール事業【実践事例】

柏市立手賀東小学校（千葉県）

## 【取組内容①】 1人1端末を利用した道德の授業（国際理解・国際親善C）



国際理解の学習では、**jamboard**を使用して日本と他国の文化を比較した。思考ツールとしてベン図を使用することで、共通点と差違点を明らかにしながら、日本の学校とは違う外国の学校のよさを考えた。



jamboardでなら児童がまとめたものをその場で確認することができた。そこで、日本とそれぞれの国の差違点だけでなく、外国同士の差違点、共通点にも目を向ける児童もいた。

個別の考えや意見を1つのJamboard上で共有することで、それぞれの価値観に気づきながらの国際理解につながった。一方で、膨大な情報の中から必要な情報を集めることが難しいと感じた。学級の実態や発達段階を考慮して、適切な端末使用ができるよう、授業づくりをより工夫する必要も感じた。